

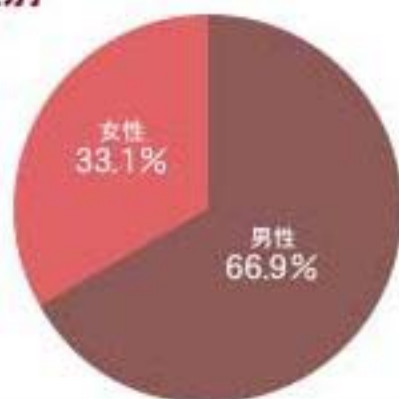
アンケート調査の結果 まとまる

回収率は42.2%

合併協議会では「新市建設計画」策定の基礎的な資料とするため、
合併に関する住民アンケート調査を実施しました。
各務原市、川島町の18歳以上の住民から5,100人を無作為抽出。
用紙を7月末に発送し8月15日を締め切りとして集計しました。
有効回収数は2,152人で、回収率は42.2%でした。

回答者の性別

回答者の男女比率は「男性」66.9%、「女性」33.1%となりました。



回答者の年齢

回答者の年齢比率は「50～59歳」が23.1%で最も多く、次いで「60～69歳」22.6%、「40～49歳」14.7%の順となっています。



●お住まいの地域の誇りは何ですか。(3項目まで選択)

現在住んでいる地域で誇りに思うことをお聞きしました。両市町とも「自然環境」が最も多く、次いで「快適な住環境」となっています。3位以下は、市町で回答が分かれました。

各務原市では「産業（航空、IT、地場産業など）」が30.4%となっているのに対し川島町では2.2%、川島町で32.0%の「教育、生涯学習、文化スポーツ活動」が各務原市では13.4%と、両市町の特徴が表れています。

各務原市



川島町

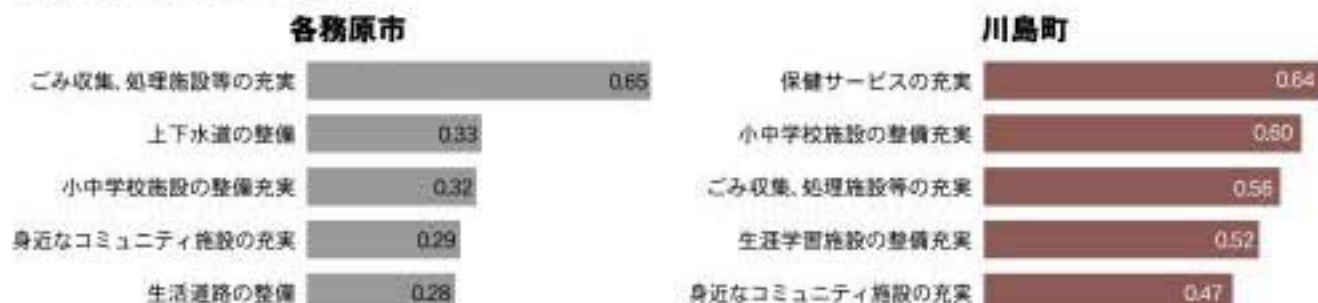


●生活環境・行政サービスの満足度は。(36項目をそれぞれに評価)

現在住んでいる地域の生活環境や各種行政サービスについて、満足度をお聞きしました。回答の選択肢5つをポイント化しました。(「大変満足」2点、「やや満足」1点、「どちらともいえない」0点、「やや不満」-1点、「大変不満」-2点)

■満足度が高い

両市町ともに満足度が高いという評価を得られたのは、「ごみ収集、処理施設等の充実」「小中学校施設の整備充実」。特に各務原市では、前者が突出して高い評価となっています。川島町では「保健サービスの充実」「生涯学習施設の整備充実」などが高くなっています。



■満足度が低い

満足度の評価が低かった項目は、両市町で大きな違いがあります。

各務原市では「中小企業育成、起業支援や融資拡大、雇用の場の確保」「観光振興」「農林水産業の振興」など、産業分野での評価が低くなっているのが特徴です。川島町では「公共交通の充実」が突出し、「商業の振興」「幹線道路網・橋の整備」「医療施設の充実」などの評価が低くなっています。



●将来のまちづくりのために重要な施策は何ですか。(5項目まで選択)

各務原市では「医療施設の充実」「高齢者福祉施設の整備」が多く、次いで「幹線道路網・橋の整備」「公共交通の充実」が多くなっています。川島町では「公共交通の充実」「幹線道路網・橋の整備」がそれぞれ52.9%、52.4%と突出し、「医療施設の充実」「商業の振興」が多くなっています。



●合併した場合に、どのようなことを期待しますか。(3項目まで選択)

両市町が合併した場合に期待することについて、各務原市では「財政基盤の拡大強化と効率的な行政」「地域資源の活用と相互連携」が多く、次いで「公共施設の有効利用・相互利用」となっています。

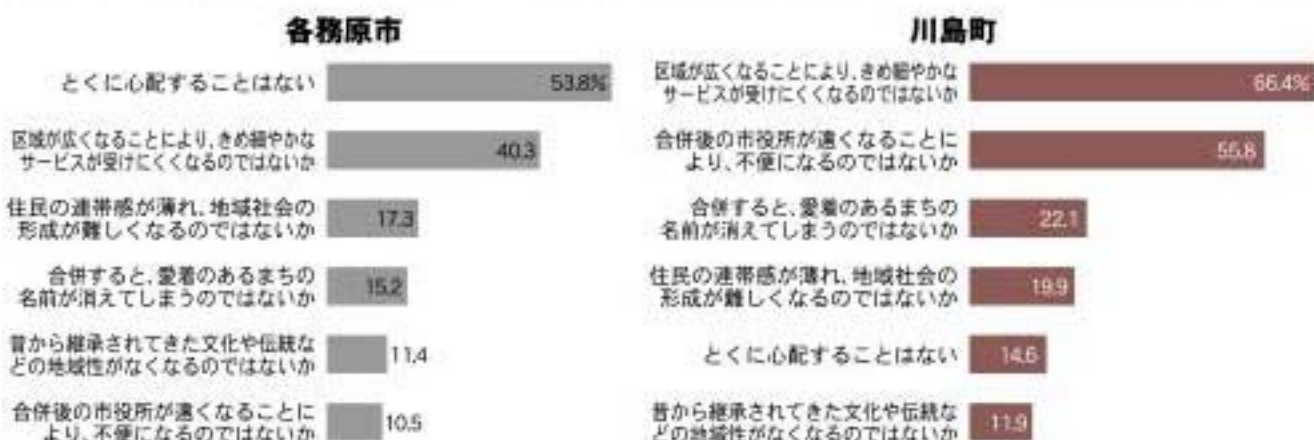
川島町では「広域的視点による社会資本整備」に対する期待が特に多く54.1%、次いで「行政体制の充実、新たな行政需要への対応」「財政基盤の拡大強化と効率的な行政」が多くなっています。



●合併した場合に、どのようなことが不安ですか。(3項目まで選択)

各務原市では「とくに心配することはない」が53.8%、次いで「きめ細やかなサービスが受けにくくなる」が40.3%と多くなっています。ほかの項目は10%台です。

川島町では「きめ細やかなサービスが受けにくくなる」の66.4%、「市役所が遠くなることにより不便になる」の55.8%が突出して多くなっています。各務原市で一番多かった「とくに心配することはない」は14.6%と少ないのが特徴です。



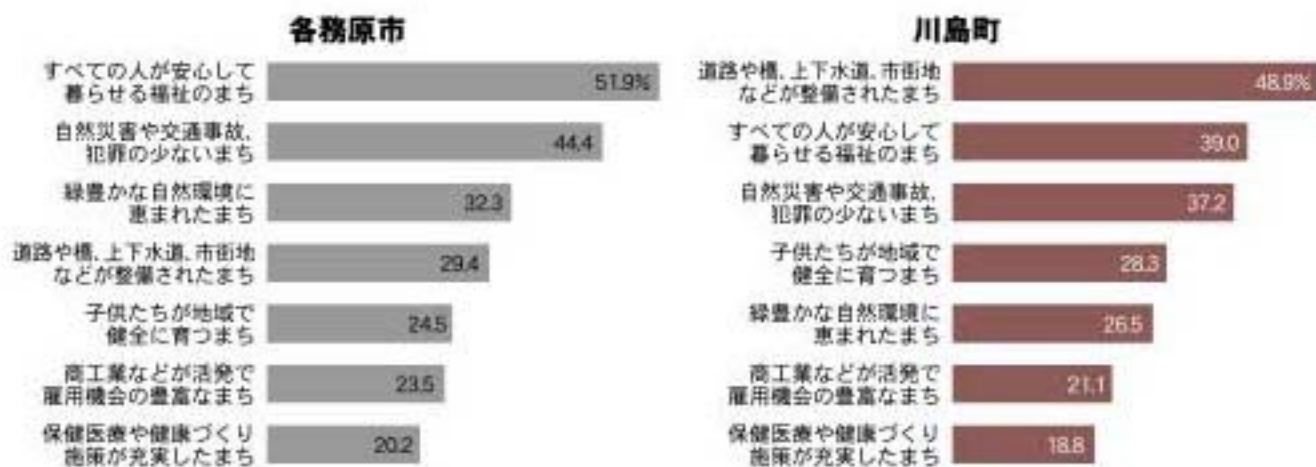
自由意見について

最後に、両市町の将来についての夢やアイデア、合併に関するご意見、ご要望を、自由意見としてお聞きしました。意見欄の記入は632件で、回収数に対する比率は29.4%でした。内容を分類し、積み上げた結果、上位10項目は下記のとおり。

- ①「新しいまちづくり」への提言、要望、具体的提案、新市への期待など(129件)
- ②地域内外を往来する広域的な幹線道路・橋りょうの整備について(98件)
- ③新市の名称、町名について(78件)
- ④行政改革(職員・議員数、効率性、スリム化、健全財政)について(77件)
- ⑤公共交通の充実(鉄道、民間バス、コミュニティバス)について(62件)
- ⑥合併に関する情報(協議状況、メルिट・デメリット)について(58件)
- ⑦合併全般(合併の是非、期待・不安等)について(57件)
- ⑧身近な緑の保全、育成について(45件)
- ⑨日常生活における生活道路網の整備について(40件)
- ⑩子育て支援の体制(乳幼児医療など)について(38件)

●将来的に、どのようなまちになっていけばよいと思いますか。（3項目まで選択）

両市町ともに「すべての人が安心して暮らせる福祉のまち」「自然災害や交通事故、犯罪の少ないまち」が多くなっています。川島町では「道路や橋、上下水道、市街地などが整備されたまち」が最も多くなっているのが特徴です。

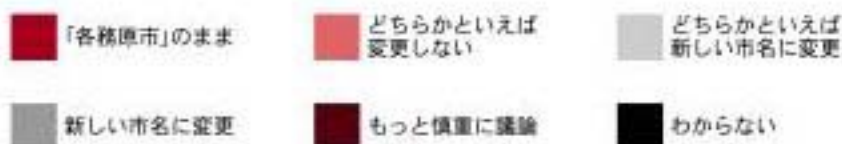


●合併を機に、市の名称を変更することについてどう思いますか。

合併協議会では、新市の名称について『各務原市』を基本とし、継続協議とする」としています。そこで合併を機に、市の名称を変更することについてお聞きしました。

各務原市では、『各務原市』のまま「どちらかといえば変更しない」が合わせて82.5%と、現状のままを望む回答が圧倒的多数でした。

川島町でも、「変更しない」「どちらかといえば変更しない」が合わせて42.1%で、「変更すべき」「どちらかといえば変更」を合わせた37.8%より多くなっています。



※アンケートに回答いただいた皆さんへ
ご協力ありがとうございました



□問い合わせ
木曾川文化圏市町合併協議会
事務局TEL 0583-(83)1900

※掲載したアンケート調査結果は抜粋してあります。詳しいことは事務局へお問い合わせください。

（調査内容）生活環境・行政サービス
の満足度と重要施策、合併への期待・不安、合併後の将来像、新市の名称など

（調査期間）平成15年7月31日～8月15日

（調査方法）郵送による回収

（対象）各務原市、川島町に住する18歳以上の男女5100人（無作為抽出）

（調査概要）郵送による配布、郵送による回収

（調査名）「各務原市と川島町の新しいまちづくりに向けたアンケート調査」

■調査の概要